

地域水産物の販売・加工活動による地域活性化 (沿岸漁業リーダー・女性育成支援事業)

北薩地域振興局 林務水産課

【背景・目的】

北さつま漁協出水支所は、組合員数135名で、八代海南部海域を漁場に、タイ類、イカ類等を対象にした吾智網漁業、アジ等を対象にした一本釣漁業、クルマエビ等の刺網漁業、機船船曳網漁業等が営まれているほか、冬季は、鹿児島県で唯一、ノリ養殖業や打瀬網漁業が営まれている。

しかしながら、当地域においても近年の経営環境は、資源の減少傾向や高齢化、魚価の低迷などで厳しい状況にある。

このため、沿岸で漁獲される水産物の加工・販売に取り組む漁村女性起業化グループを育成し、地域水産物の付加価値向上を図り、地域漁業の経営安定と地域の活性化を図る。

【普及の内容・特徴】

漁村女性起業化グループ（名称：JF北さつま出水女性グループいといより（以下「いといよりグループ」という。）（平成20年設立））について、国の支援事業等を活用した水産物の加工・販売の取組を支援した。

- 1 平成20～22年度は漁村女性起業化グループ取組支援事業（全漁連・水産庁）を活用した加工機器や販促資材整備等の取組を支援し、水産物の簡易加工による付加価値向上と毎月第2土曜に開催するおさかな市の周知を図った。
- 2 平成23年度から北さつま漁協出水支所が実施する食育支援活動に参画しているほか、平成24年度は食育の推進事業（県農政課）を活用し、小学生や一般市民を対象とした捌き方教室や調理教室等の取組を支援した。
- 3 平成25年度は、沿岸漁業リーダー・女性育成支援事業を活用して、専門家による加工品開発等の研修会を開催、保存性のある新たな包装資材の導入やおさかな市でのイベント等（魚介類つかみどり大会）の取組を支援した。
- 4 平成26年度も引き続き支援事業を活用して、塩干品の品質均一性確保のための専門家による研修、新たに導入した真空包装機や電動ミキサーを用いた新商品開発や製造効率向上の取組及びおさかな市でのイベント等（加工品試食会等）の取組等を支援した。

【成果・活用】

- 1 毎月第2土曜日に開催するおさかな市（名護・新鮮おさかな市）は地域の行事として定着し、地域の活性化にも繋がっている。
- 2 おさかな市でのイベント等（加工品試食会等）を通じて地産地消や食育への理解を深めてもらうとともに、地域の重要な産業である水産業をPRできた。
- 3 専門家の指導を通じ、塩干品製造におけるグループの課題の一つであった品質均一性が確保できるようになった。
- 4 真空包装機の導入により保存可能な商品の製造が加工となり、試作した甲イカ真空パックはテスト販売したところ好評を得た。また、電動ミキサーの導入によりすり身の製造効率が向上した。

【その他】

平成27年度も北さつま漁協や出水市と連携して、いといよりグループが取り組む付加価値を高めた加工品づくりやその販促活動等を引き続き支援することとしている。

1 グループの設立

設立年月日	平成20年 9 月 5 日
会員数	11名 (10個人, 1 法人 (漁協))
グループ名	J F 北さつま出水女性グループいとし

2 活動状況



研修視察（串木野市島平漁協）



研修（森枝水産）



加工品試食会（名護漁港）



加工品試食会新聞折り込みチラシ